令和6年度 横浜市大岡地域ケアプラザPDCAシート（事業計画書、事業報告書、事業実績評価）

—総括表—

◆ 事業計画

地域の現状と今後の方向性

新型コロナウイルス感染症が5類に移行し、地域活動が再開されてきた一方、活動者の高齢化や担い手不足については課題が継続されており、様々な世代の意見を織り交ぜ、関係機関と協力して課題改善に取り組む必要がある。総合相談においては相談件数が増加の一途をたどり、包括支援センターの業務が逼迫している。これらの課題に対応するためICTの活用推進による業務効率化や人員配置基準の見直し、ランチ設置など、ハード・ソフト両面でのセンター機能の強化を模索する必要がある。

今年度の重点的な取組

新規
継続

—具体的な取組内容—

- 井土ヶ谷エリアは困難事例が多く、訪問が頻回化しやすいため、職員加配やランチ設置などのハード・ソフト両面でのセンター機能の強化を模索する。
- 5職種の情報共有と連携強化を目的として、ICTの活用推進に向けた調査を行う。Ayamu/ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビを必要に応じて更新していく。ケアマネジャーや民生委員にも活用してもらえるように周知を進めていく。
- 地域課題である担い手の高齢化等について、協議体を実施し、様々な世代の意見を織り交ぜ、関係機関と協力して課題改善に取り組んでいく。
- 地域の小学校との関係性構築のため、学校イベントなどに積極的に出席し、学校・地域と連携して福祉教育への啓発や自主事業への参加を促し、高齢者や障がい者、認知症への理解を進めていく。
- 横浜国大特別支援学級のインターンシップ受入れについては、これまでの形に囚われず、実現可能な形式で実施していく。また、3館主催事業を継続して実施し、地域貢献活動に繋げていく。
- 個別相談の中で、虐待や判断能力の低下についての確に把握し、速やかに被虐待者の保護や成年後見制度につなげるなど、適切な対応を行う。介護者サロンの周知等を通じ、介護者支援につなげていく。介護者家族の相談時には、介護者支援のパンフレット等を配布する。
- 地域ケア会議のテーマ設定に当たり、包括三職種及びケアプラザ五職種での意見・情報交換の機会を十分に設ける（包括カンファ、五職種会議の定例化と内容の充実）。テーマや参加者の選定に当たり、相談件数や内容、対象者の在住地域等についての分析を行う。

振り返り

多方面において一定の成果が見られる一方で、さらなる改善や工夫が求められる課題も明らかになりました。相談支援では、金銭管理不全や住居・食料に関する緊急課題に対して迅速な対応を試みましたが、本人の拒否や介護保険認定までの時間的制約が障壁となる場面がありました。井土ヶ谷エリアにおける相談機能強化の取り組みでは、アドバイザー派遣事業の活用により具体的な方針が確認できましたが、地域住民の期待をより適切に反映させるためには、引き続き住民からの意見収集や関係機関との連携を強化する必要があります。また、職種間の連携では、五職種会議を通じて業務課題の共有や分析が進みましたが、ICTの活用には課題が残り、効率的な運用のためのさらなる検討が必要です。「Ayamu/ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビ」については、情報の更新や案内方法に工夫を加えているものの、紙ベースでの需要が依然高いことが課題であり、民生委員会やケアマネサロンなどを活用してデジタル活用をより一層周知する取り組みが必要です。住民主体の地域づくりに関しては、若年層の参加が増加するなどの成果が見られましたが、担い手不足や高齢化といった根本的な課題は依然として存在しており、協議体でのテーマ設定を通じてさらなる広がりを持たせる必要があります。地域ケアプラザの場を生かした支援では、横浜国大特別支援学級との連携や継続的な健康プラザ事業などが進展しましたが、内容の固定化を防ぐため、さらなる多様なプログラムを導入する検討が求められます。権利擁護業務については、高齢者虐待や消費者被害防止に関する講座や研修を実施し、成果を得ましたが、普及啓発のさらなる拡大が課題です。成年後見制度の活用を通じた生活の安定や虐待疑い事例への適切な対応は成果が見られる一方、介護者サロンを活用した高齢者虐待に関する普及啓発活動の強化が今後の課題となります。これらを踏まえ、引き続き地域住民や関係機関との連携を深め、多様な課題に対応できる柔軟な支援体制の構築に取り組み、地域福祉保健計画の実効性向上に努めてまいります。

区からのコメント

ヨコハマ地域活動・サービス検索ナビの活用や横浜国大特別支援学級との連携など、新しい取り組みを積極的に実施いただきました。エリア内で行われている健康づくり、子育てサロン、高齢者サロンなどの地域資源を把握し、その場に適した後方支援が効果的に実施されています。「出張相談」の実施により、気軽に相談できる体制を整えています。引き続き施設から離れたエリアでも相談しやすい環境づくりを行ってください。地域活動への参加等、住民の声に耳を傾ける取組をされています。今後も地域の特徴でもある商店街などの民間企業（組織）や学校等と連携を深めながら、事業を進めてください。

個別相談・地域支援ともに、地域特性を捉えながら、地域に寄り添った支援を展開されています。相談支援では、住民の声に耳を傾け、相談機能強化の取り組みについて、アドバイザー派遣事業を活用し、具体的な方針の確認がされました。個別支援では、様々な課題に対し、地域・区・医療と連携しながら、丁寧に取り組まれています。地域支援では顔の見える関係、ネットワークの構築に取り組まれています。引き続き、共有された課題に対し、5職種で連携して支援を展開する体制づくりに取り組んでいただけることを期待します。

令和6年度大岡地域ケアプラザ事業計画書・報告書(施設運営、介護保険事業)

1 施設の適切な運営について

	公正・中立性の確保について	コンプライアンスへの対応について (事故防止、個人情報保護等)
取組計画	地域包括支援センター、居宅介護支援事業とも自事業所のサービスや特定の事業所を紹介するなど偏ることなく、ご利用者に選択肢を複数提示しながら公正・中立を図る。	個人情報を含む書類等については専用のキャビネットにて一元管理し、責任職がその都度施錠・開錠することで事故防止に努めている。また、区内の事故事例等を職員会議等にて周知し、共有しながら事故防止等に努めている。
実績	事業所を相談者・利用契約者等に紹介する際には、必ず、ホームページや複数の事業所の資料を提示して情報提供をした。パソコンや携帯の利用に慣れておられる方には、介護情報サービスかながわ及び、介護サービス情報公表制度の案内をして、主体的に事業所を選んで頂くように努め、公正・中立を図った。	個人情報を含む書類等は専用キャビネットで施錠管理し、開錠は責任職がその都度行うことで、事故防止に努めた。他事業所の事故事例について、所内の諸会議のほか、情報伝達・共有システムも活用して迅速に共有し、継続的に注意喚起を行い、個人情報保護についての職員の意識を高めた。

2 指定介護予防支援事業、居宅介護支援事業

	指定介護予防支援事業 第1号介護予防支援事業	居宅介護支援事業
目標	適切なアセスメントを行った上でサービスを提供し、介護が重度化しないように努めていく。	ご利用者様の意思や人格を尊重し、ご利用者様とともに必要なサービスの導入など支援内容、方法を考えていく。
利用料金	【サービスに係る費用】 指定介護予防支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十九号)及び横浜市介護予防ケアマネジメント実施要綱に基づく金額 【その他料金】 特になし。	【サービスに係る費用】 指定居宅介護支援に要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第二十号)に基づく金額 【その他料金】 特になし。
職員体制	常勤 5人	常勤 3人
契約者数	300 件	137人(内訳:介護93人支援44人)

3 通所系サービス事業

	通所介護・第1号通所介護	(介護予防)認知症対応型通所介護	地域密着型通所介護
目標	地域の高齢者が住み慣れた場所で継続して暮らしていけるように、ご本人、ご家族の支援、サポートを行なっていく。		
実施体制	【実施日数】 7日/週 ※年末年始を除く 【提供時間】 9時10分～16時15分 【定員】 30人	【実施日数】 【提供時間】 【定員】	【実施日数】 【提供時間】 【定員】
利用料金	【サービスに係る費用】 指定居宅サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生省告示第十九号)及び横浜市介護予防・日常生活支援総合事業実施要綱に基づく金額 【その他料金】 特になし。	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)及び指定地域密着型介護予防サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十八号)に基づく金額 【その他料金】	【サービスに係る費用】 指定地域密着型サービスに要する費用の額の算定に関する基準(厚生労働省告示第百二十六号)に基づく金額 【その他料金】
職員体制	生活相談員:3人 介護職員 :17人 看護師 :4人		
契約者数等	【延べ利用者数】 7326人 【契約者数】 94人	【延べ利用者数】 【契約者数】	【延べ利用者数】 【契約者数】

令和6年度「大岡地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜地域活動交流＞

(単位：円)

収入の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料	19,208,088	123,500	19,331,588	16,755,099	2,576,489	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）	80,000		80,000	79,000	1,000	
雑入	20,000	0	20,000	0	20,000	
印刷代	0		0		0	
自動販売機手数料	0		0	0	0	
その他	20,000		20,000	0	20,000	
その他	△ 2,078,153		△ 2,078,153		△ 2,078,153	
収入合計	17,229,935	123,500	17,353,435	16,834,099	519,336	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	12,284,000	0	12,284,000	12,276,439	7,561	
本俸	8,952,000		8,952,000		8,952,000	
社会保険料	1,254,000		1,254,000		1,254,000	
手当計	1,697,000		1,697,000		1,697,000	
健康診断費	60,000		60,000		60,000	
勤労者福祉共済掛金	50,000		50,000		50,000	
退職給付引当金繰入額	243,000		243,000		243,000	
その他	28,000		28,000	12,276,439	△ 12,248,439	
事務費	371,935	0	371,935	854,274	△ 482,339	
旅費	20,000		20,000	28,507	△ 8,507	
消耗品費	100,000		100,000	149,663	△ 49,663	
会議随時費	0		0	0	0	
印刷製本費	0		0	11,119	△ 11,119	
通信費	145,000		145,000	232,760	△ 87,760	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	30,000		30,000	0	30,000	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	5,000		5,000	32,140	△ 27,140	
職員等研修費	30,000		30,000	2,235	27,765	
振込手数料	5,000		5,000	12,537	△ 7,537	
リース料	36,000		36,000	0	36,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	935		935	385,313	△ 384,378	
事業費	421,000	0	421,000	531,612	△ 110,612	
運営協議会経費	0		0	0	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）	421,000		421,000	531,612	△ 110,612	
その他	0		0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池保守点検			0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）	0	0	0	0	0	
太陽光発電設備及び蓄電池修繕（追加）			0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）	0	0	0	0	0	
SNSによる広報業務等モデル実施（追加）			0	0	0	
管理費	2,779,000	0	2,779,000	5,157,235	△ 2,378,235	
光熱水費	1,845,000		1,845,000		1,845,000	
清掃費	550,000		550,000		550,000	
機械警備費	53,000		53,000		53,000	
設備保全費	261,000	0	261,000	0	261,000	
空調衛生設備保守	56,000		56,000		56,000	
消防設備保守	20,000		20,000		20,000	
電気設備保守	25,000		25,000		25,000	
害虫駆除清掃保守	10,000		10,000		10,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	150,000		150,000		150,000	
共益費	70,000		70,000		70,000	
その他	0		0	5,157,235	△ 5,157,235	
修繕費	474,000	0	474,000	383,664	90,336	予算：指定額
公租公課	900,000	0	900,000	0	900,000	
事業所税	0		0		0	
消費税	900,000		900,000		900,000	
印紙税	0		0		0	
その他	0		0		0	
その他	0		0		0	
支出合計	17,229,935	0	17,229,935	19,203,224	△ 1,973,289	
差引	0	123,500	123,500	△ 2,369,125	2,492,625	

自主事業費 収入	80,000	0	80,000	79,000	1,000	
自主事業費 支出	421,000	0	421,000	531,612	△ 110,612	
自主事業 収支	△ 341,000	0	△ 341,000	△ 452,612	111,612	

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

令和6年度「大岡地域ケアプラザ」
収支予算書及び報告書（一般会計）＜包括・介護予防・生活支援・チームオレンジ＞

収入の部 (単位：円)

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
指定管理料【包括】	30,402,545	27,500	30,430,045	30,217,031	213,014	横浜市より
指定管理料【介護予防】	150,000	0	150,000	150,000	0	横浜市より
指定管理料【生活支援】	5,952,353	5,952,353	11,904,706	5,952,353	5,952,353	横浜市より
指定管理料【チームオレンジ】	0	0	0	0	0	横浜市より
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【包括】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	0	0	0	0	0	
自主事業収入（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0	0	0	0	0	
雑入	0	0	0	0	0	
印刷代	0	0	0	0	0	
自動販売機手数料	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
その他	0	0	0	0	0	
収入合計	36,504,898	5,979,853	42,484,751	36,319,384	6,165,367	

支出の部

科目	当初予算額 (A)	補正額 (B)	予算現額 (C=A+B)	決算額 (D)	差引 (C-D)	説明
人件費	34,836,000	0	34,836,000	33,501,901	1,334,099	
本俸	20,000,000		20,000,000		20,000,000	
社会保険料	4,940,000		4,940,000		4,940,000	
手当計	9,000,000		9,000,000		9,000,000	
健康診断費	60,000		60,000		60,000	
勤労者福祉共済掛金	36,000		36,000		36,000	ハマふれんど
退職給付引当金繰入額	700,000		700,000		700,000	
その他	100,000		100,000	33,501,901	#####	
事務費	974,000	0	974,000	1,627,567	△ 653,567	
旅費	30,000		30,000	60,638	△ 30,638	
消耗品費	140,000		140,000	159,592	△ 19,592	
会議随時費	0		0	1,840	△ 1,840	
印刷製本費	0		0	22,819	△ 22,819	
通信費	260,000		260,000	262,639	△ 2,639	
使用料及び賃借料	0	0	0	0	0	
自販機目的外使用料（横浜市への支出）	0		0	0	0	
その他	0		0	0	0	
備品購入費	0		0	0	0	
図書購入費	0		0	0	0	
施設賠償責任保険	0		0	8,543	△ 8,543	
職員等研修費	12,000		12,000	9,147	2,853	
振込手数料	4,000		4,000	21,105	△ 17,105	
リース料	528,000		528,000	0	528,000	
手数料	0		0	0	0	
地域協力費	0		0	0	0	
その他	0		0	1,081,244	△ 1,081,244	
事業費	880,000	0	880,000	632,732	247,268	
協力医	630,000		630,000	441,000	189,000	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【包括】	50,000		50,000	9,402	40,598	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【介護予防】	150,000		150,000	150,000	0	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【生活支援】	0		0	32,330	△ 32,330	
自主事業費（指定管理料充当の自主事業）【チームオレンジ】	50,000		50,000	0	50,000	
その他	0		0	0	0	
管理費	960,000	0	960,000	1,006,167	△ 46,167	
光熱水費	700,000		700,000	700,000	0	
清掃費	130,000		130,000		130,000	
機械警備費	14,000		14,000		14,000	
設備保全費	87,000	0	87,000	0	87,000	
空調衛生設備保守	15,000		15,000		15,000	
消防設備保守	5,000		5,000		5,000	
電気設備保守	6,000		6,000		6,000	
害虫駆除清掃保守	21,000		21,000		21,000	
駐車場設備保全費	0		0		0	
その他保全費	40,000		40,000		40,000	
共益費	17,000		17,000		17,000	
その他	12,000		12,000	1,006,167	△ 994,167	
修繕費	126,000		126,000	101,986	24,014	
公租公課	0	0	0	0	0	
事業所税			0	0	0	
消費税			0	0	0	
印紙税			0	0	0	
その他			0	0	0	
その他			0	0	0	
支出合計	37,776,000	0	37,776,000	36,870,353	905,647	
差引	△ 1,271,102	5,979,853	4,708,751	△ 550,969	5,259,720	

自主事業費 収入	0	0	0	0	0
自主事業費 支出	250,000	0	250,000	191,732	58,268
自主事業 収支	△ 250,000	0	△ 250,000	△ 191,732	△ 58,268

管理許可・目的外使用許可に関わる収入	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による手数料収入
管理許可・目的外使用許可に関わる支出	0	0	0	0	0	目的外使用許可(自販機)による横浜市への支出
管理許可・目的外使用許可に関わる収支	0	0	0	0	0	

※各大項目の内訳については、「その他」欄に集約して記載している場合もあります。

★指定管理業務・委託業務として実施している介護保険事業のみ、対象です。

令和6年度 大岡地域ケアプラザ収支予算書及び報告書<介護保険事業分>

施設名: ○○地域ケアプラザ

(単位:千円)

	科目	第1号介護予防支援			介護予防支援			居宅介護支援			通所介護			第1号通所介護		
		予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引	予算	決算	差引
収入	介護保険収入	7,300	6,906	394	9,400	9,709	-309	19,254	21,137	-1,883	75,708	68,846	6,862	3,000	2,548	452
	その他	0	0	0	0	0	0	85	51	34	15,122	13,721	1,401	1,217	1,085	132
	事業・負担金収入			0			0			0			0			0
				0			0	49	10	39			0			0
				0			0			0	8,143	7,409	734	708	644	64
				0			0			0	5,858	5,081	777	509	441	68
				0			0			0			0			0
		その他			0			0	36	41	-5	1,121	1,231	-110		
	収入合計(A)	7,300	6,906	394	9,400	9,709	-309	19,339	21,188	-1,849	90,830	82,567	8,263	4,217	3,633	584
支出	人件費			0			0	17,640	17,902	-262	63,406	66,029	-2,623	5,513	5,741	-228
	事務費			0			0	1,105	1,436	-331	5,299	6,891	-1,592			0
	事業費			0			0			0	5,623	6,555	-932			0
	管理費			0			0			0	6,600	5,564	1,036			0
	その他	6,400	6,077	323	8,300	8,543	-243	0	0	0	0	0	0	0	0	0
	利用者負担軽減額			0			0			0			0			0
	消費税			0			0			0			0			0
	介護予防プラン委託料	6,400	6,077	323	8,300	8,543	-243			0			0			0
			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
			0			0			0			0			0	
	その他			0			0			0			0			0
	支出合計(B)	6,400	6,077	323	8,300	8,543	-243	18,745	19,338	-593	80,928	85,039	-4,111	5,513	5,741	-228
	収支(A)-(B)	900	829	71	1,100	1,166	-66	594	1,850	-1,256	9,902	-2,472	12,374	-1,296	-2,108	812

※ 介護予防プランを他事業者へ委託する場合の取扱は、介護報酬を一旦全額収入に計上した後、他事業者へ委託料として支払う分を支出に計上してください。

※ 上記以外の事業を実施している場合は、事業ごとに列を追加して記載してください。

令和6年度 自主事業計画書・報告書

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）			■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業		■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他		
---	--	--	---	--	--	--	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者(複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
1	月曜サロン! 2! 4!	平成29年度	1:地域活動交流事業	2:発展させるねらい	口腔体操・健康体操・茶話会・ボランティア協力によるレクリエーションなど実施し、要介護にならない程度の高齢者が引きこもらず継続的に集い、頭と体を活性化させ、楽しく元気に生活を送る。	1:高齢者	1.5	毎月第1,2,4月曜日13:00~14:00 体操やおしゃべり、歌唱、脳トレを実施している。地域の方がボランティアを担っている。	35	829
2	男性体操教室	平成28年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	引きこもりがちな高齢の男性を対象とし、介護予防体操を実施する。 また、参加者同士のコミュニティを形成すること。 男女問わず募集をすると、女性の方が集まりやすいため、男性に限定する。	1:高齢者	1	毎月第1,3金曜日10:00~11:30 介護予防体操を実施し、プログラムの中で、参加者同士が話をする機会を確保している。	22	120
3	マタニティヨガ教室	平成18年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	妊婦が安心して出産に臨むことが出来るように、現役助産師から安産のコツを伝える。 また、参加者同士で悩みを共有し交流の機会をもってもらう。	7:その他	3	年間3クール実施 1クール5回 第1,3木曜日10:00~11:00 現役助産師が講師となり、安産のコツを伝える。	16	99
4	サンサンクラブ体操教室	平成16年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	障がいのある小学校1~6年生を対象に、体を動かす場を提供している。学校とは異なる環境で発達を促す。 また、親同士の休息・交流も含んでいる。 中学生まで対象拡大するか検討中。	2:障害児・者	2.3	毎月第1,3水曜日15:30~16:30 障がい児のリトミックと親の休息タイム。	0	0
5	フードドライブ	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	SDGsについて関心が高まり、フードロス削減と、大岡健康プラザと大岡地域ケアプラザの周知が目的。 寄付先再検討中。	5:地域	3	大岡健康プラザの入り口付近に回収BOXを常設し、月1回福祉団体へ寄付をする。	9	198
6	Xmasにサンタがやって来る	令和4年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	Xmasにサンタが現れ、大岡健康プラザの利用者との交流を行う。 大岡健康プラザが地域に身近な施設であることを周知する。	5:地域	3.4	大岡健康プラザ内をサンタがお菓子を配り歩く。 12月のXmas前に実施する。	1	500
7	足の健康フェスタ	令和5年度	1:地域活動交流事業	1:優先的に取り組み	健康には「足」がポイントになってくる。大岡健康プラザとして、地域の方の健康維持のために、3館で取り組んでいく。 大岡健康プラザ3館の連携強化。	5:地域	1	3月頃に開催する。 大岡健康プラザ内で足に関する測定や体操などを行う。	1	61
8	サロン連絡会	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域で活動する自主グループ、サロン等の情報交換促進やネットワークづくりを進める。	5:地域	5	各地区担い手メンバーによる情報交換、困りごと等を共有し団体活動の支え合いにつなげる。	1	30
9	生活レベルアップ講座	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	高齢者の生活や健康に役立つテーマで講座を実施。 民生委員、友愛、保健活動推進員の研修も兼ねている。	1:高齢者	1	本大岡地区三団体協議会と共催。 日頃の情報交換より地域課題を捉えテーマを設定している。三団体に属する方は地域に伝えられるように、地域高齢者は自身の生活に役立てるように実施する。	2	68
10	井土ヶ谷カレッジ	令和3年度	6:共催(2と3)	1:優先的に取り組み	実際に地域で取り組み、実践できる内容の講座等を実施して、地域を支える住民の力の底上げを行う。	5:地域	5	井土ヶ谷地区社協と共催。 認知症や介護予防に限らず、幅広いテーマで地域住民の相互理解や支え合いにつなげていく。	1	29
11	ニコニコウォーク	令和3年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	地域を歩くことで住んでいる町を深く知る事ができる。 外出のきっかけや健康促進につなげる。	5:地域	5	本大岡地区社協と共催。 商店街や施設の協力をいただき、ウォーキングをしながら「文字集め」を行う。	1	103
12	介護者サロン だんごの会	令和6年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	主に認知症高齢者の介護をする家族のための自由懇談会。安心して日ごろの思いを話したり、互いの経験を聞くことができる場をつくることで、介護者の精神的な負担を軽減し、虐待予防につなげる。 *介護者家族等による自主サークルであったが、今年度より、包括の自主事業とする。	7:その他	1	毎月第4水曜日 10:00~12:00 介護を卒業した方が、参加者の聞き手役をしている。専門的な相談対応が必要な場合には別途職員が対応することとし、当事者同士が自由に話せることを重視している。	12	26
13	井土ヶ谷地区 出張相談	平成18年度	2:地域包括支援センター運営事業	1:優先的に取り組み	CPから遠い井土ヶ谷地区の住民に日常生活課題等について相談しやすい環境を定期的に作ることで、課題のある高齢者の早期発見、早期課題解決につなげる。	1:高齢者	5	毎月3回、第1火曜日、第2火曜日、第3水曜日の13:30~15:30に、それぞれ、東団地、上一町内会館、ヴェレーナ地域交流室にて、出張相談会を実施する。	35	141

■ 事業 1：地域活動交流事業 2：地域包括支援センター運営事業 3：生活支援体制整備事業 4：共催（1と2） 5：共催（1と3） 6：共催（2と3） 7：共催（1と2と3）	■ 事業の性質 1：優先的に取り組みが求められる事業 2：福祉保健活動に発展させることをねらいとした事業	■ 主な対象者、従たる対象者 1：高齢者 2：障害児・者 3：養育者及び乳幼児 4：子ども・青少年 5：地域 6：事業者 7：その他
---	---	--

No	事業名	開始年度	事業	事業の性質	事業目的	主な対象者	従たる対象者 (複数選択可)	事業内容・実施時期	合計	
									実施回数	延べ参加人数
14	生活支援ミニ講座	令和6年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	季節や情勢に合わせたミニ講座を実施。適切な情報提供をし、テーマに合わせた普及啓発を行う。	1:高齢者	5	地域活動に向き情報提供・ミニ講座を実施。	2	18
15	ポッチャ交流会	令和4年度	3:生活支援体制整備事業	1:優先的に取り組み	ポッチャを通じて住民同士の交流と障害理解をすすめる。	5:地域	2	地区社会福祉協議会、地域活動支援センターと共催。 障害のある、なし関係なく、年代も超えて楽しめるポッチャを年間を通じて実施する。	3	114